

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	保健課	事業No.	128
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	新規
		開始	R2	終了	R3
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		6	「市民総健康」と「生涯現役」をめざす	
	分野別計画			健康いいた21	
法令・例規等			新型インフルエンザ等対策特別措置法		
			飯田市新型インフルエンザ等対策本部条例		
			飯田市新型インフルエンザ等対策行動計画		
事業目的	対象	飯田下伊那の住民			
	意図	新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、症状のある方の診察と検体採取をして、検査結果を迅速に行います。			

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	◇長野県からの委託事業です。 ・飯田市地域外来・検査センターを開設し、1日最大検体採取数は15件、検体持ち込み5件の計20件で、検体は市立病院に搬送してPCR検査等をおこない、その日の内に結果を出すようにしています。 ・検体採取件数が増加した場合や連休などの際には、必要に応じて開所しました。 ・検体採取件数とその結果は市ホームページで随時公開しています。 ・飯田下伊那の住民が受けた検査は、患者自己負担分をその市町村が補填し、無料としました。		消耗品費					1,090			
			保険料					954			
			施設管理業務委託料					317			
			施設清掃等業務委託料					67			
			事業運営業務委託料					22,873			
			施設改修工事					11,829			
			事業用備品購入費					2,502			
			負担金					22,619			
			その他の経費					2			
活動指標			指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	検査数	件							2,000	907	
2年度決算(千円)	予算額	74,582	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	62,253	(国) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 (県) 地域外来・検査センター事業委託金 22,873千円 (県) 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金 (10/10) 14,255千円 (そ) 検体検査業務受託								
	財源の状況	国庫支出金	676								
		県支出金	37,128								
		地方債	0								
		その他	209								
一般財源	24,240										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	1	16	3	74,582	62,253	地域外来・検査センター事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	検査を受けることができる環境を確保することは重要です。
上記の課題解決のための有効策	地域外来・検査センターを開設し、その日以内に結果を出すようにしています。病院や医師会の協力により検査体制を確保しており、検体採取件数が増加した場合や連休などの際には必要に応じて開所します。
次年度に向けての取り組み	検査体制を市立病院を含む6病院や飯田医師会の協力により、検体の持ち込みを含め1日最大で20件の検査を受け入れます。また、検体採取件数が増加した場合や連休などの際には必要に応じて開所します。